



HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	iPS細胞のインパクトは社会にどのように受けとめられたか : 科学研究に対する科学者・報道機関・人々の注目の違い
Author(s)	薦谷, 匠; 安藤, 康伸; 飯田, 有希 他
Description	2011年7月21日、訂正記事を追加。 この論文に対し、訂正記事が第10号に掲載されています。
Citation	科学技術コミュニケーション, 9, 23-34
Issue Date	2011-06
DOI	https://doi.org/10.14943/50091
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/45778
Type	departmental bulletin paper
File Information	JJSC9_005_corr.pdf, 訂正



訂正

iPS 細胞のインパクトは社会にどのように受けとめられたか
～科学研究に対する科学者・報道機関・人々の注目の違い～

蔦谷匠・安藤康伸・飯田有希・井上志保里・貴船永津子・小寺千絵・近藤菜穂
・猿谷友孝・豊田丈典・中村史一・宮武広直・渡邊俊一・横山広美

『科学技術コミュニケーション』9, 23-34, 2011.

著者からの申し出により、32-33 ページの謝辞、1・2 行目、「京都大学の川上雅弘博士・水町衣里博士・加納圭博士からは、本研究について貴重なアドバイスをいただきました。」を、「京都大学の川上雅弘博士からは、本研究について貴重なアドバイスをいただきました。」と訂正する。